

《ズワイガニ活魚特産物化プロジェクト》

市町村	鶴岡市	対象地域	鶴岡地域	分野	水産
実施主体名	鶴岡地区底曳船主会	代表者氏名	齋藤 守	住所/連絡先	鶴岡市由良二丁目8-2/0235-73-2566
実施主体構成	7名				

プロジェクト 目標 (5年後)	産出額の増大		172,630千円(増加額9,673千円)				
	ズワイガニ活魚出荷量の増大		84kg(H20) → 1,250kg(H25)				
	その他魚種の鮮度アップによる価格向上		スケトウダラ、ハタハタ、ホッコクアカエビ				
各年次目標	現 状	1年目 (H21)	2年目 (H22)	3年目 (H23)	4年目 (H24)	最終年 (H25)	
産出額(千円)	162,957	166,626	170,221	171,916	172,630	172,630	
ズワイガニ	活魚	0	1,260	3,435	5,610	6,525	6,525
	鮮魚	9,586	9,308	8,829	8,349	8,148	8,148
スケトウダラ	6,618	6,913	7,033	7,033	7,033	7,033	
ハタハタ	21,667	23,750	25,278	25,278	25,278	25,278	
ホッコクアカエビ	4,705	5,014	5,265	5,265	5,265	5,265	
その他	120,381	120,381	120,381	120,381	120,381	120,381	
プロジェクト 概要 (プロジェクト 計画は別添の とおり)	◎実施方針	海水冷却装置を導入し、ズワイガニを活かしたまま運搬し、活魚で出荷することにより取扱単価アップを図るとともに、量的安定により、特産物化を目指す。					
	○産出額の増大	ズワイガニの鮮魚出荷での平均単価 1,149円 平成20年度の対象漁業者のズワイの合計水揚量 8,343kg 活魚出荷した場合のズワイの平均単価(H20) 5,214円 活魚出荷する割合 15%(5年後) ズワイ活魚出荷による増大額=8,343×0.15×(5,214-1,149)=5,087千円 その他魚種の鮮度アップによる価格向上 4,586千円 合計9,673千円					
	○雇用の創出	活魚出荷体制確保のための人員確保(平成25年雇用人数 2人/日(6か月雇用))					
	○創意工夫	・特産地との漁期の違いを利用した生産 ・集団で取り組むことによる量の安定化					
	○実現性	ズワイガニについては、資源管理も行っており資源量は安定している。ズワイガニの活魚は中央市場において高価に取引されている。ズワイガニの活魚運搬技術が確立されている。その他魚種については、海水冷却装置の有無により、市場単価に差が生じている。					
	○地域への波及効果	水産物の鮮度保持については、漁業者間の温度差が大きいですが、このような取り組みが評価されることにより、漁業者の意識改革にもつながり、地域全体での高品質化が期待できる。					
	○その他	ブランド化による付加価値向上					

		実施年度(平成21年度)	実施年度(平成22年度)
事業内容		海水冷却装置の設置(4隻)	海水冷却装置の設置(3隻)